

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第16号(2011年5月1日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科幼児教育学研究室
TEL:0824-22-7111(内線5680) FAX:0824-24-5261

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第9回総会のご案内(重要)
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第24回研修会ご案内
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第22回研修会報告
- 5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第23回研修会報告
- 6 編集後記～震災支援活動についてのお知らせ～



1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部
支部長・幹事 猪木省三

本年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を祈っております。

日本臨床発達心理士会では、臨床発達心理士・東日本震災支援対策本部を開設し、通称「ぴえろプロジェクト」として災害支援活動を行っております。中国・四国支部会員の皆様にもご案内したように、募金及びボランティアの募集も現在進めております。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、2003年4月に中国・四国支部が発足して、早いもので8年が過ぎようとしております。この間、日本臨床発達心理士会の会員数は全国で約3000名となり、支部の会員数も約200名の規模となりました。これも、皆様からの多大なご支援、ご協力のたまものと、感謝の言葉もありません。あらためてお礼を申し上げます。

今回の会報でご案内しております通り、来る5月29日(日)の13時から支部総会、続いて14時から支部研修会を、愛媛県松山市で開催いたします。

支部総会は年に一度の支部会員の会合ですので、ぜひご参加下さり支部の活動についての意見交換、情報交換にご参加いただきたいと思います。中国・四国支部として、東日本大震災への支援活動、中国・四国支部の分割、中国・四国支部活動の拡大など、いくつかの課題があるかと考えております。

支部研修会は今回で24回目となります。今回は愛媛大学の花熊 暁先生を講師としてお迎えいたします。「通常の学級における特別支援教育～個のニーズに対応できる学級・授業づくり～」と題して講演をいただきます。資格の更新ポイントとして1ポイントになります。ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

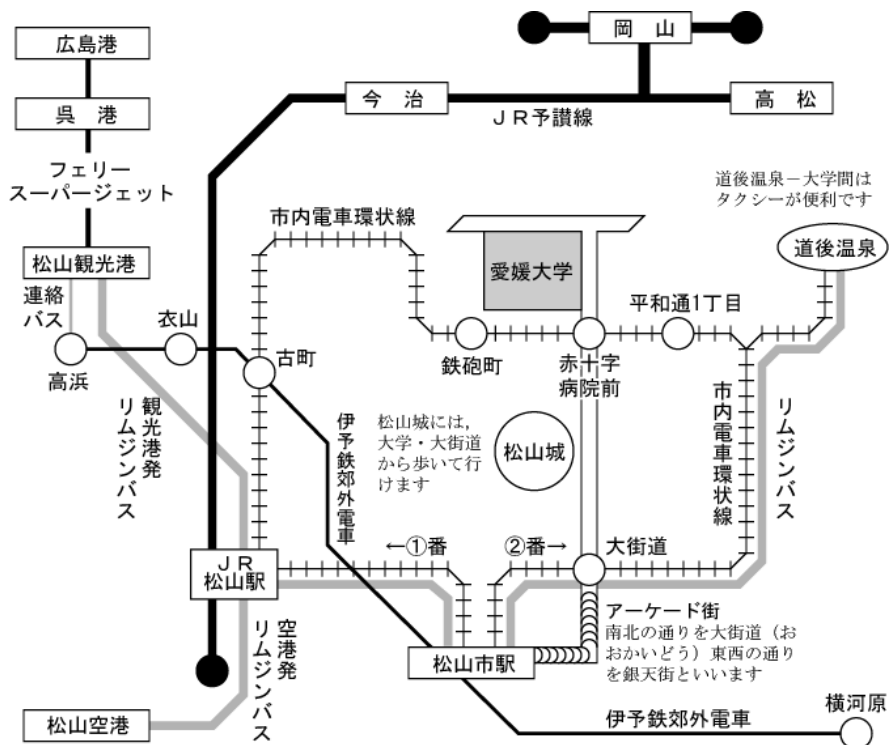
なお、ご都合で当日の総会への出席がむずかしい会員の方は、総会への委任状をお送りくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

中国・四国支部の現役員の任期も本年度が3年目で最後の年となります。精一杯務めて参りますので、引き続いて、皆様のご支援、ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

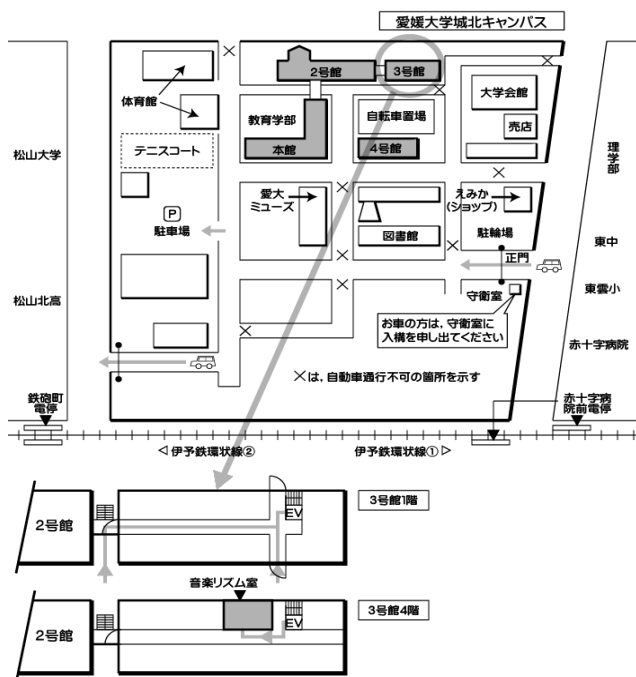
2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第9回総会のご案内【重要】

2011年度中国・四国支部総会を次のように行います。あわせて第24回研修会も開催されます。ぜひご参加下さいませようご案内申し上げます。

1. 日 時 2011年5月29日(日)13:00～ (50分程度, 続いて研修会)
2. 場 所 愛媛大学教育学部3号館6階 音楽リズム室
(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番)
<http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~edhp/access.html>
3. 議 題
2010年度活動報告, 2010年度会計報告, 2011年度活動計画案, 2011年度予算案 他
4. アクセス



愛媛大学教育学部 音楽リズム室のご案内



● 飛行機や船で松山へ

松山空港と松山観光港から市内まではリムジンバスが出ていますので、これをご利用になると便利です。JR松山駅から下の要領で市内電車かバスに乗り換えてください。

● JR松山駅から大学へ

- 電車をご利用の場合
駅前の市内電車乗り場(古町・鉄砲町方面)で1番の電車に乗り「赤十字病院前」で下車してください。
- バスをご利用の場合
東西線に乗り「愛媛大学前」下車



※ なお、ご都合で出席なさらない方は、期日までに事務局宛に委任状をお送りくださいますようお願い致します。

3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第24回研修会のご案内

総会に引き続き、次のような研修会が開催されます。たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。事前の申し込み及び参加費は不要です。研修会の参加者ポイントは1ポイント（3時間）です。

1. 日 時 2011年5月29日(日)14:00～17:00
2. 場 所 愛媛大学教育学部3号館6階 音楽リズム室（総会と同じ）
3. 講 師 花熊 暁先生（愛媛大学教育学部教授）
4. テーマ 「通常の学級における特別支援教育
～個のニーズに対応できる学級・授業づくり～」

通常の学級には、LD、ADHD、高機能自閉症等のいわゆる知的な遅れのない発達障害の子どもたちに加えて、障害はなくても学習面や行動面、クラス適応面に困難を示す児童生徒が数多く存在しています。そうしたことから、通常の学級ではいま、子どもたち一人ひとりの違いに対応できる授業づくりと学級集団づくりが大きな課題となっています。本研修会では、特別支援教育の観点に立った通常の学級の授業・学級づくりについてお話しします。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第22回研修会のご報告

2010年9月26日(日)愛媛大学教育学部にて、講師に長尾秀夫先生（愛媛大学教育学部教授）をお迎えし、「事例から学ぶ発達支援の在り方」と題してご講演いただきました。



事例から学ぶのタイトル通り、参加者一人一人が自らの関わる事例を思い浮かべながら、具体的に作業を行うという研修内容でした。ICF（国際生活機能分類）や、ABC分析、種々の検査法、PDCAサイクルなどについての説明とその利用の仕方についてのご教示をしていただくとともに、参加者が気になる子どもの特徴記述を実際にあてはめて、

支援をするために他職種の間で共通理解を深める材料を作る作業を行いました。

具体的には、子どもの状態をICFに即して表現してみたり、子どもの行動上の問題を、ABC分析にあてはめていき、それらをグループディスカッションを通して検討したりするなど、豊富に演習を組み込んで理解を深めました。最後に、事前に参加者から募って提出された事例レポートに対しても、具体的なご示唆をいただきました。参加者数は22名。臨床発達心理士会各支部主催の研修会として資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第23回研修会のご報告



2011年1月29日(土)、高知県教育センター分館大講義室にて、中国・四国支部第23回研修会が開催されました。「自閉症スペクトラムー早期発見と早期介入の重要性について」と題し、畠中雄平先生(高知県立療育福祉センター副センター長総括)によるご講演を賜りました。

前半は、ASD(自閉症スペクトラム障害)に関する最新の医学的・心理学的知見をご教示いただきました。ASDに関わる歴史的な経緯を解説いただいた後、神経病理学や認知心理学の知見など、ASDを理解する上で必要な基盤的知識を分かり易くお示しいただきました。

後半は、「診断は早期介入と一体になって初めて機能する。そうでないと単なるラベル貼りになってしまう」とのお言葉からスタートしました。早期発見・早期介入の重要性を中心に、観察のポイント、共同注意、家族支援、薬物療法など幅広く実践的な知識を得ることができました。最後に、高知県における自閉症スペクトラム支援体制について、精力的なお取組をご紹介いただきました。

ご講演後、参加者から質問が出され、さらに学びを深めることができました。畠中先生の圧倒的な知的刺激に満ちたお話しに魅了された3時間でした。「子どもを診断し支援することの意味」や「長く子どもをみていくことの大切さ」も教えていただきました。参加者数は20名。県役員の宮地暁男先生をはじめ、会員の皆様には細やかなご準備をいただき、高知での初めての研修会は大成功でした。臨床発達心理士会各支部主催の研修会として資格更新ポイントは1ポイント(3時間)でした。

6 編集後記 ～震災支援活動についてのお知らせ～



この度の東北地方太平洋沖地震をはじめとする各地で頻発する地震で被災された方々、原発事故の影響で避難を余儀なくされている方々とその関係者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。みなさまのご無事と一日も早い復旧をお祈りしております。

すでに会員の皆様には郵送および電子メールにてお知らせしておりますが、日本臨床発達心理士会では、被災された方たちへの支援プロジェクト「びえろプロジェクト」など災害支援活動を実施しております。そこで、支部会員のみなさまにも可能な範囲でのボランティア登録をお願いしております。また、士会会員の活動資金として「臨床発達心理士災害支援活動基金」を発足しております。実働の困難な会員のみなさまには、是非ボランティア活動する会員への後方支援をお願いいたします。

また、年度がわりのご異動等に伴って、連絡先に変更のある方は支部事務局にもご連絡ください。ご登録いただいているメールアドレスのみが変更になられた方は、下記の投稿宛先となっているアドレスまでご連絡いただいても結構です。登録番号、お名前とともに新アドレスをお願いします。

支部ホームページ(<http://www.geocities.jp/jacdpcs/>)には、研修会などのご案内、支部会報のバックナンバーなどを掲載しております。こちらもぜひご活用ください。

宛先: yashima●hbg.ac.jp ※ご利用の際は、●を@に変えてください (編集委員会)